

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関 各位

令和7年7月22日（火）

【照会先】

鳥羽市企画財政課 企画経営室

担当：勢力

TEL 0599-25-1101

第16回全国離島交流中学生野球大会の激励会について

1. 概要 別紙をご参照ください
2. 日時 令和7年7月29日（火）9時30分～10時00分（30分程度を想定）
3. 場所 鳥羽市役所 2F 市長室

全国離島交流中学生野球大会（離島甲子園）の概要

1 趣旨

「国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会（正式名称）」は、地理的環境から島外との交流機会の少ない全国の離島の中学生が一堂に会し、野球を通じて「島」と「島」の交流を図ることにより、新たな人間形成や健全な青少年の育成を促進することで、将来を通じた離島地域の振興に寄与することを目的とする。

2 経緯

国土交通省の2008年離島体験滞在交流促進事業の一環として、2008年7月に東京都大島町で10自治体に参加して第1回大会が開催される。

前身は、プロ野球OBである村田兆治氏の提唱により、2004年3月1日に平成の大合併で合併し、一島一市となった新潟県佐渡市、長崎県壱岐市・対馬市の3市の合併記念事業として、2005年夏に佐渡市で開催された「国土交通大臣杯離島交流中学生野球大会」である。

3 開催地の状況

回	開催年	開催地	参加自治体 (チーム数)	備考
<国土交通大臣杯離島交流中学生野球大会>				
	平成 17(2005)年	新潟県 佐渡市	3チーム	
	平成 18(2006)年	長崎県 壱岐島	5チーム	
	平成 19(2007)年	長崎県 対馬市	7チーム	
<国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会>				
1	平成 20(2008)年	東京都 大島	10チーム	
2	平成 21(2009)年	島根県 隠岐の島	16チーム	
3	平成 22(2010)年	鹿児島県 種子島	17チーム	
4	平成 23(2011)年	愛媛県 生名島	19チーム	
5	平成 24(2012)年	東京都 八丈島	21チーム	
6	平成 25(2013)年	長崎県 壱岐市	22チーム	
7	平成 26(2014)年	新潟県 佐渡市	23チーム	
8	平成 27(2015)年	長崎県 五島市	23チーム	
9	平成 28(2016)年	島根県 隠岐の島	23チーム	
10	平成 29(2017)年	沖縄県 石垣市	24チーム	
11	平成 30(2018)年	鹿児島県 種子島	23チーム	
12	令和元(2019)年	長崎県 対馬市	25チーム	
13	令和 4(2022)年	新潟県 佐渡市	22チーム	(不参加)
14	令和 5(2023)年	鹿児島県 奄美大島	25チーム	
15	令和 6(2024)年	長崎県 壱岐島	23チーム	
16	令和 7(2025)年	沖縄県 宮古島	24チーム	

4 開催日程

令和7年8月18日(月)～22日(金) 4日間

	期日(曜)	内容(予定)
移動日	8月17日(日)	各地から開催地への移動
第1日目	8月18日(月)	開会式 監督会議、審判会議 歓迎レセプション
第2日目	8月19日(火)	大会(1回戦、2回戦)
第3日目	8月20日(水)	大会(準々決勝・準決勝) 交流試合
第4日目	8月21日(木)	大会(決勝) 表彰式・閉会式野球教室 キャッチボールクラシック さよならパーティー
移動日	8月22日(金)	開催地から各地への移動

5 鳥羽市からの参加者

鳥羽市内の離島に在住もしくは通学する中学生のうち希望者 14名

6 参考情報

主 催 第16回全国離島交流中学生野球大会実行委員会

後 援 国土交通省、公益財団法人日本離島センター、
一般社団法人日本プロ野球選手会、株式会社共同通信社

協 賛 ヤマト運輸株式会社、沖縄ヤマト運輸株式会社、五洋建設株式会社、
株式会社ケーダッシュセカンド

準協賛 LINE DRIVE、

協 力 アシックスジャパン株式会社、ナガセケンコー株式会社、
株式会社ロッテ、株式会社伊藤園、オタフクソース株式会社、
南海放送株式会社